

# 公開会社会計監督委員会(PCAOB)の概要

## 1. 設立の概要

公開会社会計監督委員会(PCAOB: Public Company Accounting Oversight Board)は、企業改革法に基づき2002年に設立された非営利法人。(SECが監督)。

## 2. 所掌事務

- 上場会社を監査する監査事務所の登録
- 監査基準、品質管理基準、倫理・独立性規則等の策定
- 監査事務所に対する検査(inspection)(大手監査事務所:毎年、その他:少なくとも3年に1回)
- 監査事務所等に対する調査(investigation)及び懲戒処分
- 企業改革法、PCAOB規則の遵守に関する執行

※ 監査従事公認会計士数 約13万人、登録監査事務所数 約1,660(2006年5月)。

※ 公認会計士試験は、州単位の会計士委員会の国レベルの組織(NASBA: National Association of State Board of Accountancy)が実施。

## 3. 組織及び人数

ボード(委員長及び4名の常勤委員から構成)の下、主たる部門として以下の部門が設置されている。

- 執行(enforcement)・調査(investigation)部門 (監査事務所等に対する調査及び懲戒処分、法執行: 専門職(弁護士、会計士)約25名)
- 登録・検査(inspection)部門 (監査事務所の登録、検査: 検査官約225名)
- 主任監査官室 (監査基準等の設定: 会計士約25名)

職員数は、427名(2006年1月)。2006年中に100名程度増員予定。

ワシントン本部に加え、ニューヨーク、シカゴ等全米8都市に支部を設置。

#### 4. 資金調達方法と予算

2006年度予算:経費見積計 約1.3億ドル(内、人件費1億ドル)。

PCAOBは、SECに承認された予算を基に計算された必要経費を主に「会計サポート費用」(賦課金)として各上場企業に割当。各企業への賦課金額は、その発行株式の時価総額によって決定される。

## PCAOBのボード・メンバー

### ● マーク・W. オルソン委員長(2006年6月～ )

- ・ 前FRB理事
- ・ 元全米銀行協会会長
- ・ 元監査事務所(E&Y)パートナー

### ● ビル・グラディソン委員(2002年10月～ (2005年12月～2006年6月委員長代理))

- ・ 前パットン・ボッグ(ロビー団体)の上級顧問
- ・ 元下院議員
- ・ 元健康保険協会会長

### ● カイラ・J. ジラン委員(2002年10月～ )

- ・ 元カリフォルニア従業員年金基金(CalPERS)の法律顧問
- ・ 元ニューヨーク証券取引所取締役会の法律顧問委員会メンバー
- ・ 弁護士

### ● ダニエル・L. ゴエルザー委員(2002年10月～ )

- ・ 元SECのGeneral Counsel
- ・ 弁護士、公認会計士

### ● チャールズ・D. ニーマイアー委員(2002年10月～)

- ・ 前SECエンフォースメント部門 主任会計士、不正タスク・フォース議長。
- ・ 弁護士、公認会計士

## PCAOBの組織図

